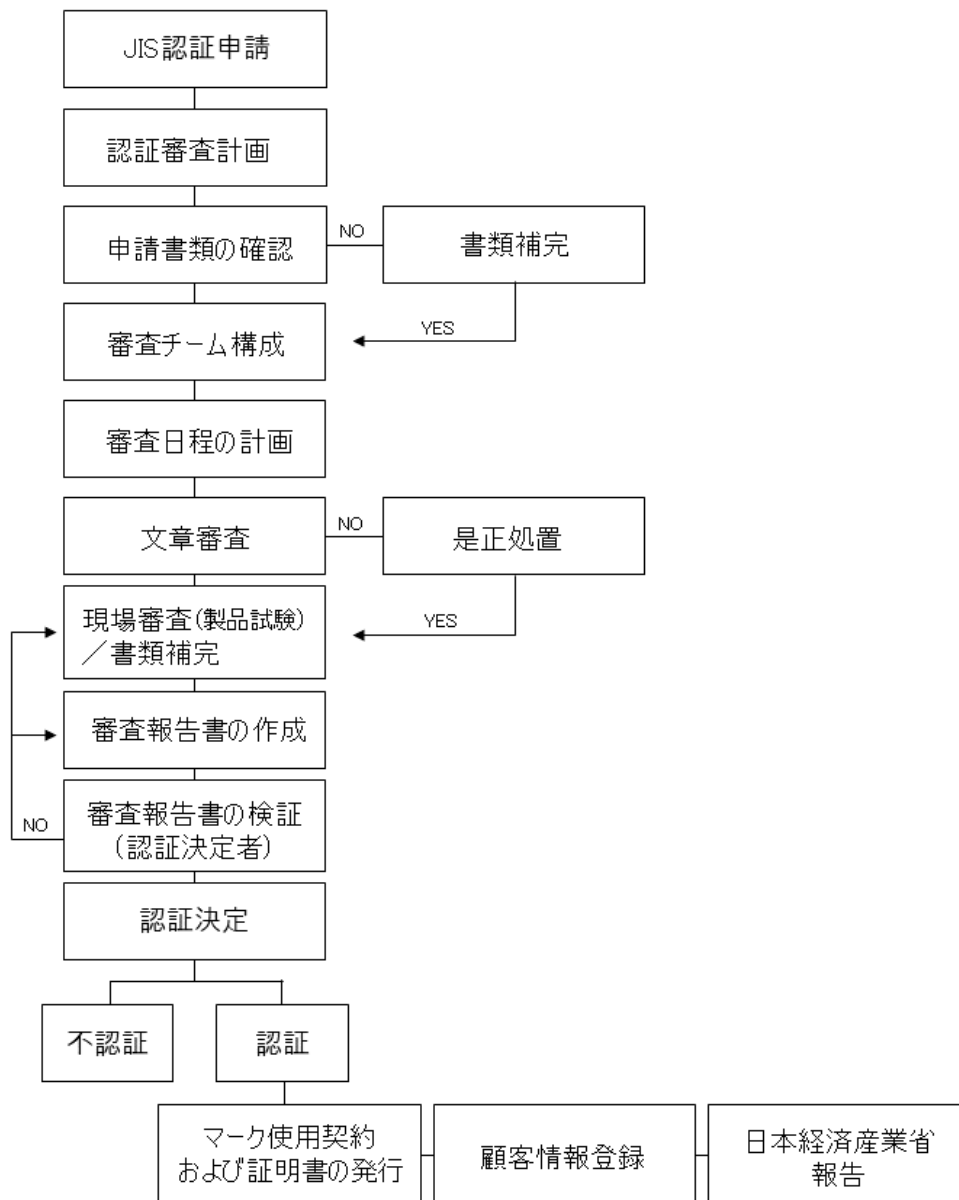


1 認証審査の手続き

1. 認証審査のフローチャート



2. 段階別の推進内容

1) 認証申請及び契約

JISマーク表示認証が必要な顧客は、JISマークの認定申請書及び申請書類を作成して、申請料と一緒に送付してください。申請書に記載された情報に基づいて作成された協会の認定審査の提案を顧客が認証契約書に署名すると、契約が完了します。

2) 審査チーム構成

契約が締結すると韓国標準協会はシ審査判を構成し、顧客に通知します。申請企業の意見は審査判の構成に反映することができます。

3) 審査計画の作成と通報

審査チームの構成が完了すると、該当の審査員は、申請書類を検討して審査計画を作成し、顧客に通知します。認証業務の公平性を期し、差別性を排除するために、認証申請から現地審査実施までの期限を60日以内とすることを原則と決まっておりますが、顧客との協会は協議を通じ、審査スケジュールを調整することができます。申請書類に不備があった場合、これを補完しなければなりません。

4) 認証審査の実行

①文書審査

現場審査の前、申請書類がそのJIS規格、審査基準、日本産業規格への適合性認証に関する省令及び社内規格に適合するかどうか審査します。文書審査と現場審査は、連続して実施するが審査文書の作成は別にしなければならない。

②現場審査

審査判は、顧客が提出した文書と実施記録が、該当の審査基準を従って適切に実施し、維持されているかどうかを審査するために、顧客の事業所を訪れ、現場審査を行います。審査終了後、審査チーム長は、不適合事項を含む審査報告書を顧客に提示して、確認をもらいます。不適合事項に対して、1ヶ月以上の是正措置の其間を通じて是正措置をする。もし、審査の結果に異議がある場合は、書面で異議を申し立てることができます。

③審査の時、致命的な欠陥や認証業務規定違反である場合、審査を停止することができます。

5) 認証の決定及び認証書の発行

確認審査が終わると、審査随同行の適切性を判断するため、審査プロセス全体を検証して適切な場合は、審議委員会を開催し、可否を決定します。

3. 所要期間

本期間は平均所要時間を例示したものであり、実際の審査では、多少の違いがあります。

区分	申請 ~ 文書審査	文書審査 ~ 現場審査	現場審査 ~ 試験完了	検証審査 ~ 認証決定
平均所要時間	7日 ~ 30日	15日 ~ 30日	30日 ~ 45日	8日 ~ 35日
申し込みからの 所要日数	7日 ~ 30日	22日 ~ 60日	52日 ~ 105日	60日 ~ 140日

2 JIS認証申請費及び日数算定基準

1. 認証審査日数算定基準

- 1) 審査日数算定表は、文書審査、審査計画の樹立、現地審査、審査報告書作成を含めて審査に必要な所要時間であり、審査の時に顧客が指摘を受けた不適合事項の是正措置を確認するための時間を審査日数に追加して算定することができる。
- 2) 以下の審査日数算定表はJIS1ヵ所に対する顧客の従業員数による審査の平均日数を提示する。類似した規模の顧客についても審査期間を延長したり、短縮しなければならない場合があり得る。各審査別に必要な期間は顧客の規模、審査の範囲及び物流(logistics)等の諸要因によって変わる。このような要因は契約見直しの過程で調査して審査期間配分に反映する。
- 3) 審査日数は、次の例のように考慮して調整することができるが、調整に対する根拠となる文書化された根拠がなければならない。
 - 審査期間延長を要求する要因の例
 - ①作業が実施される場所が2つ以上の建物や場所と関連した複雑なロジスティックス
 - ②通訳が必要な場合
 - ③従業員数に比べてあまりにも広範な作業場
 - ④利害関係者の意見
 - 審査期間の短縮を許容する要因の例
 - ①顧客の当該システムに対する事前の知識(例,KSAによってすでに他の規格認証を受けた場合)
 - ② 同一のJIS認証規格の審査を連続して行う場合
 - ③ 自然災害や伝染病の拡散により現場訪問が難しい場合
 - 審査期間の延長要因は短縮要因によって相殺されることができる。
 - 審査対象事業場が多数で、審査対象事業場間の移動時間が過度に発生する場合、実際の移動に要する時間を顧客と協議して、基準審査日数に追加して算定することができる。

2. 製品試験費用は、製品試験機関（KCL、KTCなど）の手続きに従って別途算定する。

3. 認証付与方式により、下表のように審査日数が適用される。

1) JIS認証申請者と関連工場が同一の場合

(例:認証申請者と関連工場が同じ製造業者である場合)

①初回審査

区分	基本			OPTION 1			OPTION 2		FULL OPTION
	基本 審査			試験所の追加			通訳付きの審査		
審査種類	文書 審査	現場 審査	總 日數	適格 性評 価	製品 試験	總 日數 (基本+OP1)	追加 日數	總 日數 (基本+OP2)	總 日數 (基本+OP1, 2)
1個 規格	2	4	6	1	1	8	1	7	9
2個 規格	2	5	7	1	1	9	1	8	10
3個 規格	2	6	8	1	1	10	1	9	11
4個以上	協議 決定								

②認証維持審査

区分	基本			OPTION 1			OPTION 2		FULL OPTION
	基本 審査			試験所の追加			通訳付きの審査		
審査種類	文書 審査	現場 審査	總 日數	適格 性評 価	製品 試験	總 日數 (基本+OP1)	追加 日數	總 日數 (基本+OP2)	總 日數 (基本+OP1, 2)
1개 규격	1	4	5	1	1	7	1	6	8
2개 규격	1	5	6	1	1	8	1	7	9
3개 규격	1	6	7	1	1	9	1	8	10
4개 이상	協議 決定								

③ロット/バッチ認証審査

- 最初の認証企業の場合、JIS認証の最初の審査と同じである。
- 既存認証業者の場合、協議を通じてJIS認証定期維持審査と統合して審査が可能である。

- 2) JIS認証申請者と関連工場が異なり（例:認証申請者が販売業者/輸出業者であり、関連工場が他の事業場である場合）、関連工場がKSAを通じて当該JIS規格の有効な認証書を保有していない業者である場合

①初回審査

区分	基本				OPTION 1: 試験所の追加			OPTION 2: 通訳付きの審査		FULL OPTION 総 日数
	申請者	関連工場			適格性 評価	製品 試験	総 日数 (基本+OP1)	追加 日数	総 日数 (基本+OP2)	
	文書 審査	文書 審査	現場 審査	總 日数						
1個 規格	2	2	4	8	1	1	10	2	10	12
2個 規格	2	2	5	9	1	1	11	2	11	13
3個 規格	2	2	6	10	1	1	12	2	12	14
4個以上	協議 決定									

②認証維持審査

区分	基本				OPTION 1: 試験所の追加			OPTION 2: 通訳付きの審査		FULL OPTION
	申請者	関連工場			適格性 評価	製品 試験	総 日数 (基本+OP1)	追加 日数	総 日数 (基本+OP2)	総 日数
	文書 審査	文書 審査	現場 審査	總 日数						
1個 規格	1	1	4	6	1	1	8	2	8	10
2個 規格	1	1	5	7	1	1	9	2	9	11
3個 規格	1	1	6	8	1	1	10	2	10	12
4個以上	協議 決定									

- 販売業者あるいは輸出業者である認証申請者に対する文書審査を上記表のように進める。
- 韓国語以外の言語で審査する場合、申請者と関連工場にそれぞれ1MDずつ追加できる。(OPTION 2)

- 3) JIS認証申請者と関連工場が異なり（例:認証申請者が販売業者/輸出業者であり、関連工場が他の事業場である場合）、関連工場がKSAを通じた当該JIS規格の有効な認証書を保有する業者である場合

①初回審査

区分	基本				OPTION 1: 試験所の追加			OPTION 2: 通訳付きの審査		FULL OPTION 総 日数
	申請者	関連工場			試験所の追加			通訳付きの審査		
	文書 審査	文書 審査	現場 審査	總 日数						
	適格性 評価	製品 試験	総 日数 (基本+OP1)	追加 日数	総 日数 (基本+OP2)					
1個 規格	2	1	3	6	1	1	8	2	8	10
2個 規格	2	1	4	7	1	1	9	2	9	11
3個 規格	2	1	5	8	1	1	10	2	10	12
4個以上	協議 決定									

②認証維持審査

区分	基本				OPTION 1: 試験所の追加			OPTION 2: 通訳付きの審査		FULL OPTION 総 日数
	申請者	関連工場								
	文書 審査	文書 審査	現場 審査	總 日数	適格性 評価	製品 試験	総 日数 (基本+OP1)	追加 日数	総 日数 (基本+OP2)	
1個 規格	1	1	2	4	1	1	6	2	6	8
2個 規格	1	1	3	5	1	1	7	2	7	9
3個 規格	1	1	4	6	1	1	8	2	8	10
4個以上	協議 決定									

- 関連工場はKSAの認証申請者であり取得者として申請日を基準に有効な認証書を保有しなければならない。
- 関連工場の認証申請者であり取得者として受けたJIS認証規格と関連工場として認証を受けようとする規格が同じでなければならない。
- 関連工場の認証申請者であり取得者として受けたJIS認証規格の認証範囲が、関連工場として認証を受けようとする規格の認証範囲を含めなければならない。
- 販売業者あるいは輸出業者である認証申請者に対する文書審査を上記表のように進める。
- 韓国語以外の言語で審査する場合、申請者と関連工場にそれぞれ1MDずつ追加できる。(OPTION 2)

5. 審査費用(VAT別途)

- ① 申請費(登録費込み):1,000,000ウォン(※2024年01月01日以降の審査から引き上げ)
- ② 審査費用：900,000 ウォン/MD
- ③ 出張費:標準協会旅費規程基準算出
- ④ 製品試験手数料及びVAT別途（試験機関に納付）
- ⑤ 海外の場合、審査費に審査員1人当たり1MDの移動費用を追加で請求する。（審査MDが追加されるものではない。）